

令和 3年度予算見積調書

課室名: こども安全課
 担当名: 児童虐待対策担当
 内線: 3335

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|--|------------------|---------|---|-----|-------|-------------------------|----------------|--------|
| B151 | 児童虐待対応医療ネットワーク事業 | | 一般会計 | 民生費 | 児童福祉費 | 児童福祉総務費 | 児童虐待防止対策費 | |
| 事業期間 | 平成28年度～ | 根拠法令 | 児童虐待防止法第4条(義務) | | | 宣言項目 | SDGsゴール 16 | |
| | | | | | 分野施策 | 010103 児童虐待防止・児童養護対策の充実 | SDGsターゲット 16-2 | |
| 1 事業の概要 児童の安心・安全を確保するため、医療分野での児童虐待に関する理解を深めるとともに、早期相談、通告体制の整備を図る。 (1) 児童虐待対応医療ネットワーク事業 3,077千円 | | | 5 事業説明 (1) 事業内容 児童虐待対応について詳しくノウハウのある拠点病院(県立小児医療センターを予定)に児童虐待専門コーディネーターを配置し、医療機関からの児童虐待相談窓口を明確化する。 児童虐待診断や対応に慣れている専門医によるコンサルタント体制をつくる。 (2) 事業計画 ○ 事業について医療機関への周知を行う。 ○ 地域の医療機関からの相談、研修は、児童虐待対応に知識、経験を有する拠点病院(県立小児医療センターを予定)に委託する。 ・児童虐待専門コーディネーター(ソーシャルワーカー)の配置 ・医療機関からの児童虐待対応に関する相談への助言等 ・児童相談所からの医療的相談への助言等 ・児童虐待対応能力向上のための医療機関向け研修 年3回 ・拠点病院における児童虐待対応体制の整備 (3) 事業効果 ・地域の医療機関における児童虐待への対応力の強化 ・医療・福祉・保健関係者の連携強化 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 児童虐待対応に関する経験の豊富な地域の医療機関を活用 | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2) 拠点病院0 | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 社会福祉費(細目) 児童福祉費(細説) 児童相談所費(積算内容) 児童虐待・DV対策等総合支援事業 | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (本庁) 9,500千円×0.2= 1,900千円 | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | 一般財源 | 前年との対比 |
| | | 国庫支出金 | | | | | | |
| 決定額 | 3,077 | 1,505 | | | | | 1,572 △130 | |
| 前年額 | 3,207 | 1,558 | | | | | 1,649 | |